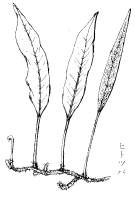


生薬解説 215 せー10

音順	生薬名	中医の性味・帰経	中医の用量
中医学生薬解説、参考・使用上の注意		および中医学以外の生薬解説・生薬学解説	
せー10	せきい 石葦	甘・苦、微寒 肺・膀胱	6～9g、大量で30～60g、煎服。
中医生薬解説			
 <p>ヒトツバの葉</p>		<b>利水通淋</b> 熱淋（尿路系炎症）、血淋（炎症性出血）、石淋（尿路系結石）などの排尿困難、排尿痛に、 <b>車前子・滑石・木通・瞿麦</b> などと用いる「 <b>石葦散</b> 」。	
		<b>清熱止血</b> 血熱妄行による不正性器出血、吐血、鼻出血、血尿などに、単味であるいは涼血止血薬と用いる。	
		<b>その他</b> 清肺熱に働くので、肺熱の喘咳に用いる。	
中医以外の生薬解説			
神農本草経		味苦平、勞熱邪氣五癰閉して通ぜざるを主どり小便水道を利す。	
新古方薬囊		味苦平、内からみたる熱を清し氣血の循環を好くし、又小便を利す。	